

## 関 東 西 濃

取組み内容： 内製化を促進するための仕組みづくりによる集配用車料削減策

### 1. 取組みの背景・目的

- ・埼玉県南部に所在する川越支店・久喜支店は、SD不足が常態化しており、採用募集をかけるも東京方面に求職する人材が多く、また求人倍率も高い為、応募が少ない状況が続いていた
- ・SD不足を補うために集配用車に頼らざるを得ない状況であり、用車との契約内容も、歩合精算ではなく、保障用車が多くなり、物量に連動した費用管理ができない状況であった
- ・一方、関東北部の所在する店所は、上記2店所と比較して採用活動は容易であり、生産性も低いなど、店所間でSD生産性の“色ムラ”が発生していた

↓

- ・そこで、2019年度に規定した「期間応援制度」を発展させ、より店所応援がしやすい体制を構築することで、外注費用の内製化を図った

### 2. 新たな仕組みの展開

- ・全国のドライバー有効求人倍率に対し、高い倍率を示し採用困難となっている川越支店と久喜支店のSD戦力の安定的確保を目的として、「SD戦力循環転勤制度」を策定し、応援体制を確立
  - ・応援を派遣する店所の設定  
SDの生産性、週休取得状況、採用活動の容易性に基づき選定  
※合計11店所 栃木・茨城：6店所 埼玉・群馬：5店所
  - ・期間の設定  
1クール（6か月）を基本として、該当店所（11店所）順に循環異動を行う
  - ・手当の設定  
5万円/月（1クール30万円）
  - ・賃金待遇の設定  
乗務作業給は異動前3ヶ月の平均日額を補償。実作業給が保証額を上回る場合は実作業給を支給

### 3. 導入による効果

- ・同制度を活用し、川越支店へ3名、久喜支店へ6名のSDが応援（転勤）に入ったことにより、週休の完全取得、集配コースの見直しによる集配用車の削減につながる
  - ※第1段階として、保障⇒歩合計算へ切り替え
  - 第2段階として、集配コースの見直しによる台数削減を実施

<取組後の集配用車料実績>

(単位：千円)

川越支店	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2019年度	6,796	7,434	7,238	7,452	7,415	7,672
2020年度	7,834	8,254	7,471	7,193	6,265	6,389
前年差	+1,038	+820	+233	▲258	▲1,150	▲1,283

(単位：千円)

久喜支店	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2019年度	5,856	7,488	7,422	8,083	8,210	7,840
2020年度	6,946	8,254	7,471	7,193	6,265	6,389
前年差	+1,089	+765	+49	▲890	▲1,945	▲1,451